

余研
瀝究

蘭庭明玉の謎

伊達家と石清水八幡宮

図書館長 鍛代敏雄

仙台北山、曹洞宗の名刹・輪王寺は、伊達家九世政宗（1353～1405）の室・蘭庭明玉（1356～1442）の所願をもって、孫の持宗（1394～1469）によって伊達郡梁川城下に創建された。伊達藩の正史『伊達正統世次考』（1722年成立）政宗の嫡子氏宗（1371～1412）の項に、

母は紀氏。石清水善法寺通清法印の女なり。後室となりて落飾して蘭庭明玉禪尼と号す。嘉吉二年壬戌七月廿日卒す。年八十七。輪王寺殿と号す。〔輪王寺記録等に見へたり〕（中略）公母すなわち義満公の姨なり。（原文）（図1）

とあり、蘭庭禪尼は善法寺通清の娘、三代將軍足利義満の叔母と信じられてきた。

伊達氏研究の第一人者、小林清治氏が執筆された『国史大辞典』（吉川弘文館、1988年）「伊達政宗」、『朝日日本歴史人物事典』（1994年、西尾和美氏）や『講談社日本人名大辞典』（2001年）の「蘭庭明玉」の項は、いずれも『伊達正統世次考』を典拠とする。かつて、東北大学教授・福島県立博物館館長などを歴任された高橋富雄氏は、著書『陸奥伊達一族』（新人物往来社、1987年、吉川弘文館、2018年復刊、31頁）で、「政宗は將軍の義叔父」「南朝などよりはるかに有効な錦の御旗を、政宗は公方に見出す」と指摘された。最近では、福島大学名誉教授・伊藤喜良氏が『伊達一族の中世』（吉川弘文館、2021年、156頁）の中で、鎌倉府にたいする政宗の反乱について、妻が義満の叔母であった「縁浅からぬ関係」による「幕府側からの何らかの支援」を想定されている。

いわき市の飯野八幡宮には、嘉暦2年（1327）の社務検校通清年貢請取状が収蔵されており、通清と南奥とのパイプがないわけではない（拙稿「石清水八幡宮領陸奥国岩城郡好嶋庄」『東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館年報』11号、2020年）。しかし、ズバリいえば、上の父子関係は創作ないしは改竄されたものと考えて間違いない。『石清水八幡宮史』首巻「祠官家系図（善法寺）」によれば、善法寺尚清（後嵯峨院の皇胤）の嫡男通清は永仁4年（1296）生、暦応4年（1341）没とある。したがっ

て、蘭庭は通清没後の生まれとなり、親子関係の齟齬は明白だ。これまでどうして検証されなかったのか、不思議でならない。まるで歴史の陥穽に落ちたかのような印象をうける。

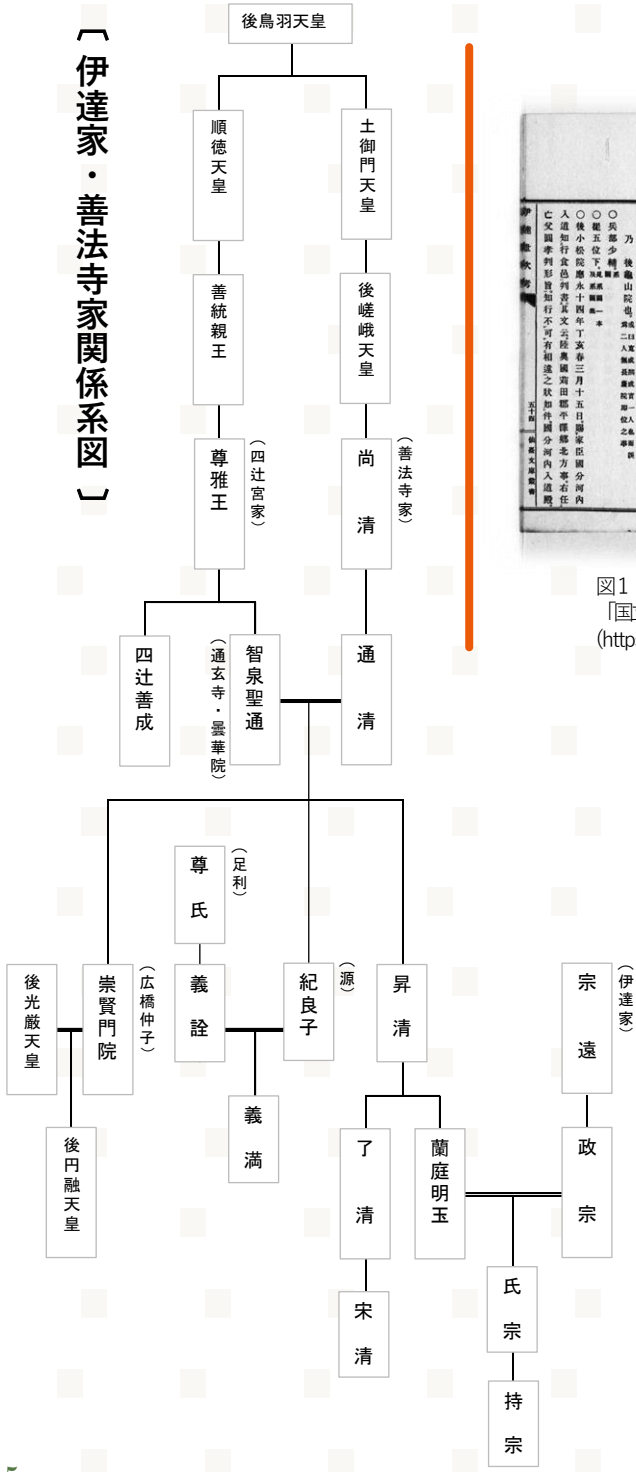
南山城八幡に鎮座する石清水八幡宮は、伊勢神宮に次ぐ天下の宗廟と称された。善法寺（紀姓）通清の妻智泉聖通（1309～88）は、順徳天皇四世・四辻善成（著書『河海抄』）の姉、尼五山通玄寺（曇華院門跡）の開基である。二人の間には、後円融天皇の国母・仲子（広橋家養女、後光厳院后・崇賢門院）、義満の実母・良子（源幸子<渋川義季の娘、二代将軍義詮室>の養女、同室）がある。蘭庭はこの良子の妹と伝えられてきた。江戸幕府が編纂した『寛政重修諸家譜』（1812年成立）にも政宗室は通清の女子と見える。地方の大名・小名にとって、姻戚を結ぶ権門（家柄）と血筋は申し分ない。

醍醐寺三宝院賢俊を得度戒師とした通清の次男・別当昇清（1326～64）は、足利尊氏・義詮から御師（祈祷僧）を許され、善法寺家は代々、将軍家の武家祈祷を任された（拙著『八幡さんの正体』洋泉社、2018年、181頁）（図2）。昇清の嫡男、新任社務の了清（1348～84）宛て、永徳2年（1382）10月15日付けの三代鎌倉公方足利氏満書状（『大日本古文書 石清水文書之六』52号）から、石清水検校と鎌倉公方との師檀関係がわかる。また、政宗の父・宗遠（1323～85）が大檀越として納めた永徳3年6月1日付けの成嶋庄八幡宮拝殿造立棟札が残っている（米沢市上杉博物館編集『伊達氏と上杉氏』2016年、14頁）。偶然かも知れないが、時期的に重なっており興味深い。ちなみに、政宗の後継者氏宗（蘭庭16歳の子息）は、公方氏満の「氏」の偏諱を得ていた。

想像の翼を大きく広げてみれば、蘭庭の実父は善法寺昇清ではないだろうか。39歳で不慮の死（「祠官家系図（善法寺）」）を遂げた後、9歳の蘭庭（了清の妹）は、長命な祖母・智泉聖通（昇清・了清の後見人）の養女になったと考えたい。とすれば、蘭庭禅尼は義満の叔母との「輪王寺記録」も合点がいく。

輪王寺を創建した持宗（氏宗の嫡子）は、梁川八幡宮を造営している。藩祖政宗（1567～1636）が、石清水の勧請神を拝受し、御分霊を仙台に遷座したとする覚書（仙台市博物館所蔵「木村宇右衛門覚書」）などに鑑みると、やはり伊達家と石清水八幡宮をめぐる浅からぬ縁が感じられるのである。

〔伊達家・善法寺家関係系図〕



出典

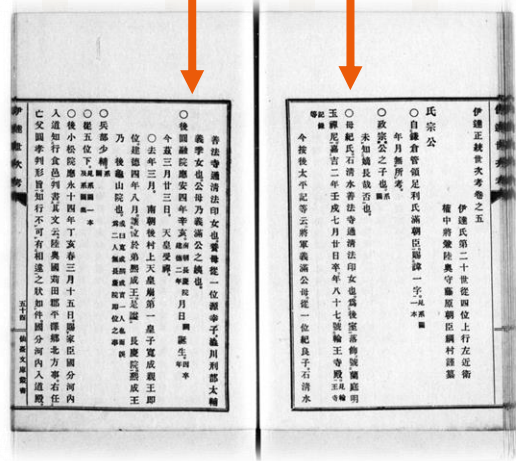


図1：『伊達正統世次考 1』55 コマ目
 「国立国会図書館デジタルコレクション」収録
<https://jpsearch.go.jp/item/dignl-780471>



図2：『八幡さんの正体』洋泉社 2018

所在：学生閲覧図書
 請求記号：172/キタ/学関